

PIEGA「礼讃」

昨年の雪解けの頃、TS3を皮切りに次々とラインアップが一新。

今は数多くの人にその魅力を余すことなく発揮する「PIEGA」。

思えば、初めて聴くTS3の驚きと楽しさが、新生PIEGAの幕開けを十二分に表していた。

今日、それを証明するのは5人のPIEGAファン！



2006年1月末発売のTSシリーズを皮切りに、新ラインからウーファー部のユニットが変更になり、リボンツイーターの美しさが一層増した。写真は左手前からリボンツイーターを使用した「TP5」、コアキシャルリボンを搭載した「TC70X」、リボンは使っていないが、PIEGAの音を堂々と体现する「TS3」。

SOUND CREATE www.soundcreate.co.jp

〒101-0021

東京都千代田区外神田3-10-3 プライム秋葉原ビル

営業時間／PM 12:00 ~ PM 8:00 (土日・祝日) / PM 12:00 ~ PM 7:00 (平日)

お取り扱いブランド

<ピュアオーディオ> LINN/PIEGA/TRIGON/OCTAVE/ANTHONY GALLO/ATC/McIntosh/YG ACOUSTICS/ORTOFON/DENON /BOULDER/AYRE/GERMAN PHYSIKS/AURA

<ホームシアター> LINN/ANTHONY GALLO/AMX/FUJITSU GENERAL/STEWART/KIKUCHI/SHARP/LUTRON/VICTOR/MARANTZ

<アクセサリー> Sound Mechanics/FAST AUDIO/FREA/QUADRASPIRE

<家具・インテリア> QUADRASPIRE/TABULARASA/FLOS

フリーダイヤル／0120-62-8166

定休日／火曜日(祝日を除く)



TC series 「TC70X」

父がオーディオ好きで昔から家にシステムがあるので、もともと興味はありました。

とはいって、父のシステムとはタイプの違う、自分は自分のシステムを構築していくのを楽しんでいます。

雑誌などで評判を読み手にしたスピーカーはその音の色付けが気になりして他のスピーカーを探していました。その時出会ったのが店頭で鳴っていたTS3。

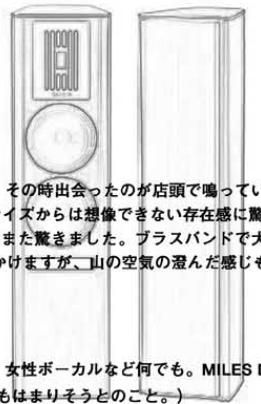
原音再生には興味がない自分が、アーティストの存在感は絶対必要です。TS3は写実性はさることながら、サイズからは想像できない存在感に驚き、すぐにはまってしました。それからまもなくTC70XをTRIGONのアンプで鳴らしているのを店頭で聞いて、これはまた驚きました。プラスバンドで大抵の楽器をさわりましたが、TC70Xの音はまさにステージ上で体感したときの音そのもの。山登りも好きで時間があれば出かけますが、山の空気の澄んだ感じもする。

今はTS3とTC70Xを交互に使いわけて楽しんでいます。

(S様・30代)

<ご使用システム>

PIEGA TC70X + NuForce IA7 + DENON CDプレーヤー、PIEGA TS3など。聴かれる音楽は、JAZZ、クラシック、女性ボーカルなど何でも。MILES DAVIS'LIVE AROUND THE WORLDを良く聴く。先日の当店のイベント「TC70Xで聴くロック」にご参加された後、ロックもはまりそうとのこと。)



TP series 「TP5」

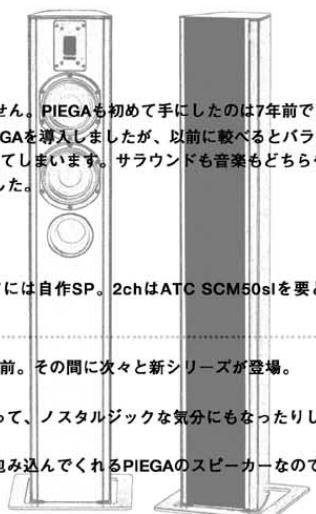
若い頃オーディオ店で働いていたくらい昔からオーディオ好きなので、何度システムを入れ替えたか分かりません。PIEGAも初めて手にしたのは7年前でした。その時もシアター用として購入。もともとシャープなデザインが好きで、今回またシアターにと思って久々にPIEGAを導入しましたが、以前に較べるとバランスが随分良くなっています。透明感も増して、リボンの音だけに頼った音色とはまるで別物。女性ボーカルなんかうっとりしてしまいます。サラウンドも音楽もどちらもいいというスピーカーが中々無くて、2システム持つことが多いですが、TP5で音楽を愉しむ時間が圧倒的に増えました。

今は家に帰ったら必ずスイッチを入れて、聴きながら寝てしまうこともしばしばです。

(T様・50代)

<ご使用システム>

シアターはPIEGA TP5 + PIEGA TP4C + LINN SIZMIK10.25 + LINN UNIDISK SC + LINN AV5125リアには自作SP。2chはATC SCM50siを要としたシステムで。聴かれる音楽は何でも！女性ボーカルが多いけれど、ロックもクラシックも何でも聴きます。



オーディオと、趣味だけでなく仕事としても付き合うようになって半年が過ぎます。PIEGAを知ったのも半年前。その間に次々と新シリーズが登場。そして、いつの間にか前からよく知るような存在になりました。その音は、例えれば初夏の風でしょうか。新鮮で新緑を感じさせる初夏の風は、不思議にどこか懐かしさもあって、ノスタルジックな気分にもなったりします。PIEGAはまさにそんな風を感じます。今の私にどのスピーカーを選ぶかと言われたら、迷わずTP5。

つい先日、生まれたばかりの我が子に聴かせたいのは、スタイリッシュで音楽性充実、シャープさと暖かさで包み込んでくれるPIEGAのスピーカーなのです。

(スタッフ 岬・33歳)

TS series 「TS3」

PIEGAとの出会いはもう随分前にあります。

当時は日本への輸入が始まったばかりでその存在を知る人はまだ少なかった。時代の先を読んだシャープなアルミの割り出しが、当初からその透明感のある音色という印象を持っていました。PIEGAに衝撃的なパンチを食らわせられたのは、小さいボディのTS3を目にした日。まだスタンドが無くJBLの上に置かれたTS3を、その小さな体から発せられる音だと気づかなかったのです。

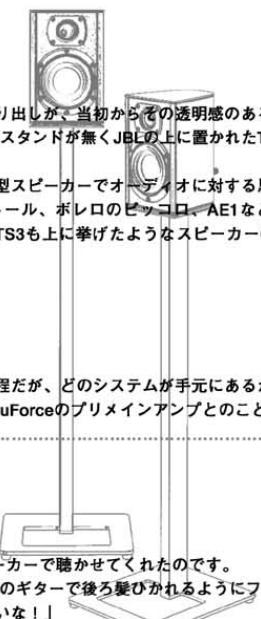
ただの「はったり」的な驚きでなく、音楽性という面での衝撃が大きかったのが一番のノックアウトでした。昔から小型スピーカーでオーディオに対する思いが変わることがあります。ロジャースLS35A、ブラウンの超ミニサイズ、ソナス・ファベル専門店エレクタ・アマトール、ボレロのピッコロ、AE1など大型スピーカーに勝るとも劣らぬ銘器が数年に一度出現し、そこから新しい道が開けることがあります。TS3も上に挙げたようなスピーカーの後に続くでしょう。サイズの問題からオールマイティではないが、デザイン面に置いても持つ喜びを味わえる逸品。

音楽を聴くための道具。久しぶりに私にリセットボタンを押してくれそうな存在です。

(M様・47歳)

<ご使用システム>

オーディオ歴は35年。アルテック、JBL、タンノイ、エレクトロボイス、ソナス・ファベル、「エレクタ・アマトール」、ウーレイ、TAD…その他多岐に渡るシステムをお持ちだった氏。今もここに書ききれない程だが、どのシステムが手元にあるか本当のところは教えてくれず。氏曰く、最近の機器の中から推奨品は、LINN LP12 (KEEL搭載のもの)、OCTAVE全般、NuForceのプリメインアンプのこと。



すでにオーディオで音楽を愉しんでいる皆さん、初めてオーディオに感心した時のことを覚えていますか？

2つのスピーカーの間から人の声が聞こえてくる。・

部屋のサイズよりも大きなホールが出現する。・

ヘッドフォンでは聞こえなかった音が聞こえる。・

私の思い出は学生時代にさかのぼります。"HOTEL CALIFORNIA"/EAGLESを丁寧にセッティングされた小さなスピーカーで聴かせてくれたのです。12弦ギターの響きと生きい声、丹々とリズムを刻むドラムと彈むベース、クライマックスは重なり合うツインリードのギターで後ろ髪ひかれるようにフェイドアウト。・「本当にこのスピーカーから出ているの？」と何度も確認したことを覚えています。「オーディオって凄いな！」PIEGAのTS3は、「初めてのビックリ」を思い出させてくれました。本当にこの「チビ」が鳴っているのか？オーディオはまさにイリュージョン。何よりもスピーカーの小ささと、音場の広さのギャップが楽しい！！

(スタッフ 金野・35歳)